

授業科目(ナンバリング)	観光調査 (CB101)			担当教員	※海老澤 昭郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>観光地づくりの基本になるのが、各種データである。観光に関する調査には「観光客数調査(発地別、宿泊・日帰り別、月別)」、「観光動向調査」、「観光意識調査」、「観光消費額調査」などがある。</p> <p>調査の種類とその活用方を学ぶ。そして、調査手法を自ら考えることができるようになることを目標とする。佐世保市、波佐見町、横浜を事例として紹介する。また、アクティブラーニングとして現地調査をするとともに課題解決を促す。</p>							②④⑤⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	各種統計がどういう手法でとられたのかに関心を持ち、その使用法、つまりどのようなことに有効な統計なのか、逆にその誤用はどのように注意すべきかが理解できる。				定期試験	30%	
情報収集、分析力	観光ポイントの観光客数調査をするにあたって、効果的(費用と期間)な企画をするための分析ができる。				レポート	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	調査手法を理解することによってその調査結果をどう使えばよいか理解することができる。				定期試験	10%	
多様性理解力	観光客数というデータはそれを利用する立場によって延数と実数では目的と用途が異なる。数字の多様性が理解できる。				定期試験	20%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験の成績を60%とし、筆記試験を行う。 2. 課題レポートは調査の企画に関するもので40%として評価する。課題レポートのフィードバックはポートフォリで行う。 							
授業の概要							
<p>日本観光協会調査部にて全国の観光統計を担当し、また長崎国際大学にて佐世保市や波佐見町での観光客数調査や観光消費額調査のプロセスを論じるなど実践的な授業である。教科書を中心に授業が進んでいくことになる。調査とは分からないことをわかるようにする作業、つまり未知を既知にする作業である。どのようにすれば効率的かつ正確な調査になるかを考えることが大切である。したがって、調査手法を考える機会が多く、ディスカッションやプレゼンテーションを行う。授業外学習時間は1日当たり180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：資料 ①「観光調査」 ②「観光客数統計の問題点と統計手法に関する研究」 ③「観光消費額調査の問題点と統計手法に関する研究」を配布する。</p> <p>参考書：なし</p> <p>指定図書：観光の地平 学文社 2,300円+税</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>世の中にはいろいろな統計が存在する。しかし、統計はすべてが正しいとは限らないし、そもそも正確な統計なるものは少数派に過ぎない。したがって統計はどのようなルールの下でとられたのかを理解したうえで使用しないと判断を誤る。その辺の注意をしてもらいたい。特に観光統計には気を付けてほしい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	調査とはなにか	調査とは、さらに観光調査とはどういうものなのか。その定義と内容を統計数字の意味とともに解説する。	身近な調査についてどのようなものがあるか調べておくこと。
2	観光調査とはなにか -文献調査と資料-	狭義の観光調査にはいわゆる文献調査や既存データの収集がある。どういうデータがあるのかを解説する。	予：教科書①の第1章2章を読む 復：第1章をノートとしてまとめる
3	入込観光客数統計	目的、調査方法(実数と延べ数)、問題点	予：①の第3章を読む 復：第3章をノートとしてまとめる
4	調査の企画	テーマ設定、アンケート調査の種類	予：第4章1・2を読む。 復：第4章ノートにまとめる。
5	アンケート調査の設計	ダブルスタンダードなどアンケート表作成の留意点、コーディングを解説する。	予：①の第4章3・4を読む。復：第4章3・4をノートにまとめる。
6	現地調査とグループディスカッション	現地(大学構内)を見て大学の文化祭というイベントでの来訪客を調べるための手法をグループごとに討議する。観光客数調査手法の企画を行う上での現地調査、観光客の動線調査、はさっきりとした数値が入手可能な観光施設や自販機などのポイントを確認する。	予：構内を見て各自で手法を考えておく。
7	現地調査と発表、解説	グループでの発表ののち、大学構内を全員で回り、観光客数調査の要点を教員がまとめていく。	復：他の発表者の手法をまとめておく。
8	観光客数統計の問題点と問題点と統計手法 1	観光客数統計の問題点、延数と実数及びその混在、	予：教科書②1 観光客数統計の問題点読む。 復：問題点をまとめる
9	観光客数統計の問題点と問題点と統計手法 2	それぞれの単位(観光ポイント、市町村、都道府県、国)における観光客数統計の意味。「比」を使った観光客数推計を解説、パールシー。	予：教科書②-2 読む 復：ノートをまとめる
10	観光客数統計の問題点と問題点と統計手法 3	「比」を使った観光客数推計を解説、イベント、川棚、横浜。	予：教科書②-3 読む 復：ノートをまとめる
11	観光客数統計の問題点と問題点と統計手法 4	観光収入調査の前段階としての観光客数調査について解説する。	予：教科書②-4 読む 復：ノートをまとめる
12	観光消費額統計の問題点と統計手法 1	これまでの観光消費額調査。 基本的な考え方について。 $観光客数 \times 観光消費単価 = 観光消費額$	予：教科書③のはじめにと1を読む。 復：ノートにまとめる。
13	観光消費額統計の問題点と統計手法 2	観光消費活動の範囲、観光消費額調査の現状	予：教科書③の2と3を読む。 復：ノートにまとめる。
14	観光消費額統計の問題点と統計手法 3	市町村における観光消費額調査。	予：教科書③の4とおわりに読む。 復：ノートにまとめる。
15	まとめ	講義全体の総括を行う。	配布プリントを復習および試験対策として熟読すること。
16	定期試験	筆記試験	授業を振り返り、試験の準備をすること。